

えいこういんかいつか 「栄光院貝塚」

埼玉県指定記念物（史跡）
大正12年3月31日指定

えいこういん（大字^{つひじ}築比地）周辺、江戸川の堤防沿いに広がる縄文時代後期^{じょうもんじだいこうき}の貝塚^{かいつか}です。古くから存在を知られ、大正時代に早くも県指定史跡となった松伏町を代表する遺跡です。

これまでの調査は、昭和29年の江戸川河川改修に伴うものが唯一の例です。この調査では、縄文時代後期前半の堀之内期^{ほりのうち}、後期後半の加曾利B期^{かそり}の住居址が発見され、多数の遺物が出土しています。また、多量の貝類から、淡水産のヤマトシジミを主体とする貝塚であることが分かりました。



※個人の所有地です。見学の際はご注意ください。また、土器などの遺物を採取することはお止めください。